

地方創生 地元企業に学ぶ



学生(右)の質問に答える尾崎英雄社長(左)＝27日午後、松山市文京町

松山大フジ尾崎社長が講義

地元企業の経営者を講師に招いた松山大の「一般経

営史」授業が27日、松山市文京町の同大であり、学生400人が地方創生に向け

た取り組みについて学んだ。

学生に地域貢献に努める地元企業を知ってもらおうのが狙い。27日はスーパーの

フジ(同市)の尾崎英雄社長が登壇した。

尾崎社長は会社の歴史や経営理念を紹介。流通の存在価値として「地域のためにできることがあれば」と始めた農場経営や産直市場の設置、移動スーパーなどに触れた。学生は熱心にノートを取り、「中四国エリアへの出店予定はあるのか」「駐輪場近くに立ち寄りやすいテナントを入れてほしい」などと活発に質問や要望をぶつけていた。

経済学部1年の山本太希さん(18)は「社会人になって困ったときに対処する力が必要だと分かった」と話した。

(宇都宮理恵)